

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(集落支援員)
まつうら りゅうた
松浦 隆太

Q 協力隊に着任して1年が経過しますが、最近のお仕事はどうですか？

A 慣れて落ち着いてきました。仕事を頼まれた時に、どんなことをすれば良いのか聞かなくてもわかるようになってきました。ホームページの閲覧数も上がってきていて、SNSの効果が出てきたのかなと思います。また、であいの里蜷川の新しい宿泊プランの立案を任せていただき、今は「1組限定で校庭でキャンプをしてもらう」というプランを考えているところです。子どもが楽しめる場所を作りたいとも思っていて、協力隊任期中に何かイベントが開催できればと考えています。冬はイベントが少ないので、「寒いけど行きたい」と思えるイベントを作りたいですね。

Q 仕事のなかで楽しいことや大変なことはありますか？

A 地域の方とお話するのは楽しいですね。であいの里蜷川の近くに商店があって、近所の方がよく集まって話されているので、そちらにお邪魔してお話させていただいたりしています。そこからほかの方にも名前や顔を覚えていただけますし、お話を聞くのも楽しく思います。大変なことは、Instagramなど、SNSでのイベントの宣伝です。季節のイベントは告知のタイミングが難しいので、気を付けていきたいです。



宿泊客からのメッセージ

Q 最近、プライベートではどんなことをしていますか？

A 家族と過ごしています。サーフィンに行ったり、町内外のイベントに遊びに行ったり。協力隊の任期終了後にはお店を開きたいと考えているので、お店を開くにあたって必要な技術を習得するためのセミナーを探したりもしています。

協力隊から一言！

楽しめるイベントを作りたいと思っています。みんなで楽しみましょう！

Kramer's Corner クレームのコーナー



今月のテーマ

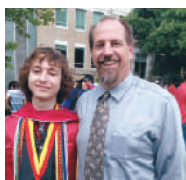
父の日

僕はよく母の話をします。日本が好きで去年町を訪問したし、よく会話に出てきます。どうして日本に来たかという質問に対して母と一緒に初めての日本旅行の話で何度も答えてきました。逆に、父の話はほとんどしないことに最近気づきました。今月は父の日なので、父について少し話したいと思います。

父はビル・リンストローム(56歳)。アウトドアが好きでアメリカの西海岸やカリフォルニアの山中にキャンプによく行きます。しかし、旅の目的はただのキャンプだけではない。彼はアンティークのビール缶コレクターで、金属探知機を装備して何十年も前に過去のキャンパーが捨てた缶を掘り起こします。アメリカにはビール缶コレクターのコミュニティがあって珍しい缶は何十万円でも売れる。父は自分の何百缶のコレクションを家の一室に飾って、子供のころ、僕は缶のさまざまな色やデザインを見るのを楽しんでいました。去年12月の僕のテレビ番組を見た方はこの部屋を覚えているでしょう。

優しくて頼もしい父は、ずっと僕を支えてきました。恥ずかしがり屋の5才ぐらいの幼い僕が安心して町コミュニティ・リーグでサッカーができるように、チームのコーチになったり、僕が中学校のテニス部に入った時、仕事で疲れているにも関わらず夜一緒に練習したりしてくれました。オーケストラでピオウを弾いていた大学生時代には、大学が遠く離れたのにコンサートがあると必ず見にきました。そして、僕がアメリカを離れて日本で暮らすという選択をした時、父は応援してくれました。

父には本当に感謝しています。皆さんもぜひ今年の父の日についていつも支えてくれているお父さんに感謝の気持ちを伝えましょう。



大学卒業式での父と僕

今月の使える！英語

Happy Father's Day! 父の日おめでとう！

今年は英語の父の日の挨拶をぜひ使ってみてください！

